

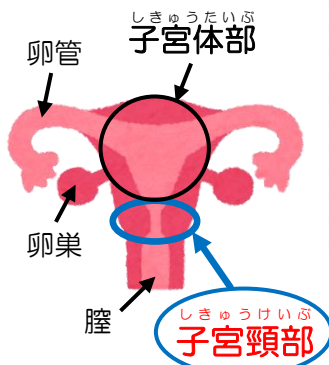
しきゅうけい 子宮頸がんワクチンについて知ろう!

そもそも、「子宮頸がん」ってなに?

- 子宮の出口に近い部分(子宮頸部)にできるがんです。20~60歳代の女性において多くを占めるがんの一つです。
- 日本で子宮頸がんと新たに診断される女性は、年間約11,000人です。また、子宮頸がんて年間約2,900人の方が亡くなっています。
- 子宮頸がんのほとんどがHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染で生じます。

ワクチンでHPV感染を
50~90% 予防
できます!

(ワクチンの種類により効果は異なります)



12~16歳の女性は
無料で接種できます

(誕生日が1997年4月2日~2007年
4月1日の女性も無料で接種できます)

HPVワクチンは

日本では3種類あり、
2~3回接種します

(産婦人科、小児科、内科で接種できます)



男性も接種することで
パートナーに移すことを
防ぐことができます

(男性の接種は一部地域を除き有料です...)

HPVワクチンの接種は強制ではありません。ワクチンを接種することについてしっかり理解し、保護者とよく相談したうえで接種するか、接種しないかを決めてください。(副反応については、下のQRを読み取ってください)
女性はワクチンを接種しても、接種しなくても、20歳を過ぎたら2年に1回、必ず子宮頸がん検診を受けましょう。

参考: 国立がん研究センター「2019年度がん種別統計情報」、HPVワクチンについて知ってください~あなたと関係のある“がん”があります~(2024年2月改訂版、厚生労働省)、HPVワクチンの接種を逃した方に接種の機会をご提供します(2024年2月改訂版、厚生労働省)

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《出張相談会—保健室に学校薬剤師が来ます》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!
11月14日(木) 12時35分 ~ 13時20分

作成・発行元 北陸大学薬学部
教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 明正光司、谷口圭吾

